

物的環境に関連するインシデント・アクシデント事例

事例番号 189

発生場所	病室	精神・意識障害の有無	リスク
発生場所 (その他)			
関連したもの	ドア	発生内容の分類	
		衝突・接触	C. 不適切な環境設定・維持管理不足によるリスク D. スタッフによる物の不適切な使用・利用・選択・設置・確認不足によるリスク

発生内容

ものの破損

概要

CTに搬送しようとしたところ、部屋のドアに精密尿道留置カテーテルのバック部分があたり破損した。→AMIカテーテル手術後の患者であったが、バック部分が破損して使用できないため抜去となった。

要因

出入り口に処置車やモニター、電子カルテなどが置いてあり、狭く、ベッド移動がしにくい環境であった。内輪差？左ベッドサイドについていたウロバック(精密：プラスチック)がドアにあたり破損した。看護師は2名で注意して搬送したが、出入り口に処置車やモニターがあり、そちらにばかり気をとられていた。

対策

1. 処置車とモニターの位置を変更
2. 電子カルテも1台とした
3. 障害物のぶつかりそうな場所では、「点滴よし」「フォーレよし」と声を出し確認しながら搬送するようにした

参照